

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。近代における山梨ゆかりの人物の功績などを紹介しています。



旧知事室

残された当時の家具類や写真などから、創建時の知事室の内装を復元しました。昭和初期の香りを感じてください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰囲気を感じられる空間としました。中央のモニターで県政の歴史などをご覧ください。【中央のモニターは休止中】



3階 正庁

県庁内の特別な行事を行う場所です。残された写真から当時の姿に復元しました。年間10回程度講座等も開催します。

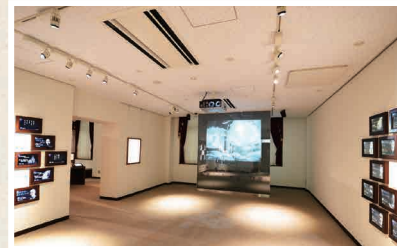


人物紹介室

テーマに沿って9人の人物を詳しく紹介します。中央では、近代化の象徴である中央線笹子トンネルの歴史を映像で紹介しています。



子ども向けコンテンツ「ふるさと人物伝」キャラクターとなった人物のクイズを楽しみながら人生の転機などが学べます。【休止中】



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さまをお迎えます。人物の功績や人物が残した言葉などをお伝えしています。



情報展示室

50人に関連するその他の人物や、人物ゆかりの地など、様々な情報を検索できます。【休止中】

現在、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、タブレット端末など接触を伴う展示の一部を休止しております。

2階展示施設

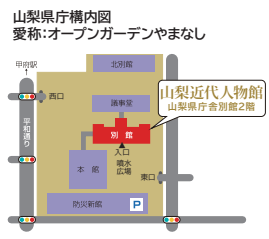
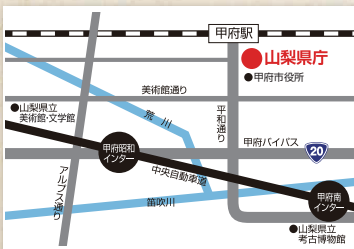
Information

開館時間/午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
休館日/毎月第2・第4火曜日
その他展示替え等により臨時に休館する場合があります
入館料/無料

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第12回展示

2020年10月3日(土)〜2021年3月28日(日)

当の間は土・日・祝日のみの開館です。最新の情報はホームページでご確認ください。

県庁舎別館展示施設

山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館 人物紹介室

山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物50人の中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

第12回展示 郷土山梨の文化の発展に貢献した人々 ―県立博物館開館15周年―

「文化」とは私たちにとってどんなものでしょう。知る喜びそのものであったり、さまざまな知的財産の拠りどころであったりもするでしょう。山梨県には、芸術や教育、学術研究など、「文化」を創造し育ててきた先人たちが数多くいます。山梨近代人物館では、文化を次世代へと継承する施設である県立博物館の開館15周年に合わせ、郷土山梨の文化の発展に貢献した人々をご紹介します。



くぬぎ きない
功刀 亀内

(南アルプス市 1889~1957)

郷土資料「甲州文庫」の収集で知られる郷土史研究者。歴史・民俗・美術の各分野にわたる資料群は、山梨の郷土史を語るうえで欠かせないものとなっている。

(※正しくは「功刀」ですが、便宜上「功刀」と表記しています。)



やまなか きょうこ
山中 共古

(東京都 1850~1928)

甲府教会に赴任した牧師であり民俗学者。甲府在任中の体験や見聞をもとに著した『甲斐の落葉』は、民俗学上の重要な文献となっている。



わたなべ せいしゅう
渡辺 青洲

(甲斐市 1840~1911)

養父の代から引き継いだ資料収集は「青洲文庫」と呼ばれ、東京大学の貴重な古典籍資料として保存されている。市川紡績場の経営にあたるなど、県内の政財界でも活躍した。



ねづ かいちろう
根津 嘉一郎

(山梨市 1860~1940)

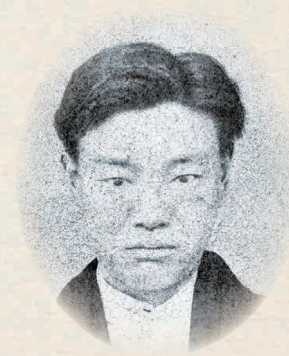
東武鉄道など全国の鉄道経営に手腕を発揮し、「鉄道王」と呼ばれた。県内全小学校へのピアノや教材の寄贈、県立図書館まるごとの寄付など、教育にも足跡を残した。



ないとう ます
内藤 満寿

(甲府市 1823~1901)

内藤伝右衛門の養母。女性向けの「をとめ新聞」の刊行に関わり、女学塾や女紅場を設けるなど、山梨県の女性教育のききがけとなった。



ないとう だんえもん
内藤 伝右衛門

(山梨市 1844~1906)

山梨県最初の新聞「峡中新聞」(現在の山梨日日新聞)の創始者。印刷・出版業で活躍し、多くの国内外の書籍を山梨に紹介した。



こばやし いちぞう
小林 一三

(韮崎市 1873~1957)

沿線宅地開発や百貨店など、鉄道の多角経営のスタイルを生み出した阪急電鉄創業者。宝塚歌劇団・東宝などの文化芸術事業も創立している。



やまき くまん
八巻 九萬

(北杜市 1852~1929)

明治14年から23年まで歴代最長在任の県会議長を務め、山梨県最初の衆議院議員になる。山梨共修社を設立し、山梨県の子弟の教育環境の向上に尽力した。



つか はら ひとし
塚原 等

(昭和町 1856~1922)

「甲府新聞」(現在の山梨日日新聞)に入社以来、数々の発行に携わる。私立山梨訓盲院の初代校長に就任。同院は、現在の県立盲学校・ろう学校の前身となっている。